

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HIP HOP6											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	MASAKI/GOTO/KENTO			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
【MASAKI】 JAPANESE HIPHOPのカリスマ『Zeebra』の専属ダンサーとして多数のステージを作り上げ、また1万人を動員した『AK-69』のRED MAGIC TOUR FINALのDANCE演出兼DANCER、そしてDABOやAI、SIMONなどのBLACK MUSICシーンの重要人物達のステージを作り上げてきた。メジャーシーンでも、嵐、KAT-TUN、ノースリーブス(AKB48)、SOUTHERN ALL STARS、MISTIA、加藤ミリヤなどの振り付けやダンサー、PV、TV出演など多岐に渡り活躍。 【GOTO】 DREAMS COME TRUEのライブには欠かせない唯一無二の存在、メインパフォーマンスチーム「S+AKS」のメンバー。「SMAP」「Crystal kay」「嵐」「ZEEBRA」「DABO」「SIMON」を初め、数多くのアーティストのコンサートツアー、LIVE、PV、振付、バックアップとしても大活躍である。 【KENTO】 「DANCE@LIVE」「JUSTE DEBOUT」「WDC」等、国内の主要ダンスバトルでタイトルを獲得。国を代表し世界と戦い続けるHIPHOPダンサー。アジアやヨーロッパ、HIPHOPを生んだアメリカのオリジネイターとも親交が深く、彼等と共にワークショップやコンテストジャッジを行いながらHIPHOPダンスの普及に努めている。											
授業概要											
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作ります。また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。											
到達目標											
この科目では1年次で習得したヒップホップダンスの基礎技術を基に、難易度の高い振付に対応する能力を伸ばしていく事を目標とします。筋肉・関節の動きを意識し、身体を最大限に使って表現ができるようになります。また音楽に合わせた表情・身体表現ができるよう、楽曲および振付に込められた意味を考えながら表現ができるようになります。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	MASAKI先生基礎①/1年次に身に付けた基礎技術の確認と振付によるレベルチェックを行う										
第2回	MASAKI先生基礎②/全身の筋力および関節の動きを意識し、自分の身体がどこまで大きく動かせるか確認する										
第3回	MASAKI先生基礎③/身体を大きく使うシーン、小さく見せるシーンのメリハリを意識して振付を実践する										
第4回	GOTO先生基礎①/ダンスで使用する楽曲の意味を理解して踊る意識を持つ										
第5回	GOTO先生基礎②/力強い振付を全身でどう表現するか意識をし、振付を実践する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HIP HOP6	
第6回	GOTO先生基礎③/ウェーブ等の流れるような動きと止める、力強く動く等複合した表現を実践する
第7回	KENTO先生基礎①/流れるような表現・力強い表現が複合した振付を実践する
第8回	KENTO先生基礎②/筋肉、骨の動きを意識し流れるような動きを滑らかに表現するよう意識する
第9回	KENTO先生基礎③/動きのメリハリを意識し、それぞれの動きの表現がきちんと実践できるようになる
第10回	MASAKI先生表現力向上①/使用する楽曲の意味を理解し、男性的な力強い表現に重点を置いて振付を実践する
第11回	MASAKI先生表現力向上②/力強く、重く踏みしめるような動きを意識し、様々な楽曲で振付を表現する
第12回	GOTO先生表現力向上①/覚える振付の長さを伸ばし、時間内に多くの振付を覚えられるようになる
第13回	GOTO先生表現力向上②/細かな振付、動きのメリハリが複雑になった振付を丁寧に実践する
第14回	KENTO先生表現力向上①/基礎力がより必要になる身体の使い方が、正確性を持ってできるようになる
第15回	KENTO先生表現力向上②/動きのメリハリを持ち、ストリート・コンテストで勝負ができる表現を学ぶ